

公益社団法人 日本水産学会  
令和4年度第3回理事会議事録

1 開催された日時 令和4年5月10日(火)18時30分～19時44分

2 開催された場所 国立大学法人東京海洋大学品川キャンパス  
白鷹館多目的スペース(東京都港区港南4-5-7)

3 理事総数及び定足数

総数 17名、定足数 9名

4 出席理事総数 17名

(上記2の会場での出席)

東海 正、廣野育生、佐野元彦

(Web会議システムによる出席)

潮 秀樹、落合芳博、小島隆人、中田 薫、河村知彦、  
山下 洋、大嶋雄治、木村暢夫、栗田 豊、八木信行、  
奥村卓二、澤田好史、有瀧真人、吉田照豊

5 出席監事

(Web会議システムによる出席)

佐藤秀一、良永知義、野澤知世

6 出席幹事

(上記2の会場での出席)

横田賢史、團 重樹

(Web会議システムによる出席)

壁谷尚樹、加藤豪司、神尾道也、小糸智子

7 議案

決議事項

- |       |                                  |
|-------|----------------------------------|
| 第1号議案 | 「会長選出」の件                         |
| 第2号議案 | 「副会長選出」の件                        |
| 第3号議案 | 「各理事の担当決定」の件                     |
| 第4号議案 | 「財務検討委員会(特別委員会)委員選出」の件           |
| 第5号議案 | 「水産・海洋科学研究連絡協議会の委員選出」の件          |
| 第6号議案 | 「水産教育推進委員会拡大委員の交代」の件             |
| 第7号議案 | 「令和5年度春季大会の開催日程、場所、委員長及び開催方式等」の件 |
| 第8号議案 | 「Fisheries Science 出版契約の更新」の件    |

報告事項

- ① 令和4年度第2回理事会以降の職務執行状況
- ② その他確認事項
  - (1) 令和4年度定時社員総会における議決事項の確認
  - (2) 令和4年度理事会開催日程
  - (3) 幹事紹介

## 8 議事の経過及びその結果

### (1) 定足数の確認等

理事東海 正が選ばれて議長となり、同理事が定足数の充足及び Web 会議用装置からなる Web 会議システムにより、出席者の音声、映像が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認した後、議案の審議に入った。

### (2) 議案の審議状況及び議決結果等

#### (決議事項)

#### 第 1 号議案 「会長選出」の件

定款第 21 条 2 項に基づき、東海 正を会長に選定した。被選定者は、席上その就任を承諾した。

#### 第 2 号議案 「副会長選出」の件

定款第 21 条 3 項に基づき、山下 洋ならびに中田 薫を副会長に選出した。また、理事の職務権限規程第 6 条(2)に基づき、会長に事故あるとき又は欠けたときの会長の業務執行に係る職務は、山下 洋、中田 薫の順序で代行することを決定した。

#### 第 3 号議案 「各理事の担当決定」の件

理事の職務権限規程第 7 条 1 項に基づく担当を、以下のとおり決定した。

会務	正	副
総務担当	廣野育生	潮 秀樹
企画広報担当	潮 秀樹	廣野育生
財務担当	佐野元彦	小島隆人
編集担当	落合芳博	澤田好史
学会賞担当	大嶋雄治	小島隆人
シンポジウム担当	河村知彦	有瀧真人
出版担当	山下 洋	大嶋雄治
水産技術誌監修担当	有瀧真人	河村知彦
国際交流担当	佐野元彦	河村知彦
水産教育担当	中田 薫	吉田照豊
水産政策担当	八木信行	落合芳博
漁業・資源管理担当	小島隆人	栗田 豊
水産利用担当	落合芳博	奥村卓二
水産増殖担当	佐野元彦	吉田照豊
水圏環境担当	大嶋雄治	河村知彦
男女共同参画担当	中田 薫	
水産学若手の会担当	潮 秀樹	廣野育生
社会連携担当	木村暢夫	澤田好史
将来計画担当	山下 洋	中田 薫
北海道支部、地域連携担当	木村暢夫	
東北支部、地域連携担当	栗田 豊	
関東支部、地域連携担当	八木信行	

中部支部、地域連携担当 奥村卓二  
近畿支部、地域連携担当 澤田好史  
中国・四国支部、地域連携担当 有瀧真人  
九州支部、地域連携担当 吉田照豊  
財務検討委員会（特別委員会）担当 佐野元彦  
英文書籍監修委員会（特別委員会）担当 山下 洋

本件について、東海会長から以下の説明があった。

東海会長「定款第 24 条第 4 号において、理事を増員して選任することが可能となっている。現在 17 名の理事がおり、定款第 20 条によると本学会の理事は 20 名以内となっているため、3 名の増員が可能である。役員役員候補者等選出規程第 2 条 3 項によれば、この 3 名以内で会長が指名し支部幹事の過半数の同意を得て理事候補者とすることができることとなっている。従前の例に従うと、若手、女性、および民間からの 3 名の理事の増員を検討したい。今後の理事会において候補者について審議する。」

第 4 号議案 「財務検討委員会（特別委員会）委員選出」の件

東海会長より、財務検討委員会（特別委員会）の委員を次の通り選出する案が提案された。審議の結果、出席理事全員一致により可決した。

委員長 佐野元彦

委員 小島隆人、廣野育生、潮 秀樹、横田賢史、壁谷尚樹、加藤豪司

第 5 号議案 「水産・海洋科学研究連絡協議会の委員選出」の件

東海会長より、水産・海洋科学研究連絡協議会の委員を次の通り選出する案が提案された。審議の結果、出席理事全員一致により可決した。

委員 東海 正

第 6 号議案 「水産教育推進委員会拡大委員の交代」の件

廣野総務担当理事より、水産教育推進委員会拡大委員を次の通り交代する案が提案された。審議の結果、出席理事全員一致により可決した。

後藤友明〔逝去〕 平井俊朗〔選出〕

第 7 号議案 「令和 5 年度春季大会の開催日程、場所、委員長及び開催方式等」の件

八木関東支部担当理事より、令和 5 年度春季大会を次の日程、場所、委員長及び開催方式で実施する案が提案された。審議の結果、出席理事全員一致により原案の通り開催準備を進めることを可決した。

日 程 令和 5 年 3 月 27 日～31 日のうち連続 4 日（初日は 27 日か 28 日）

場 所 未定（7 月以降に確定）

委員長 木村伸吾（東京大学大気海洋研究所）

開催方式 ・シンポジウム（初日、一部最終日）：オンライン

・一般講演（2 日・3 日目）・学会賞受賞者講演（最終日）：8 会場程度で対面実施

・懇親会：開催予定

・社員総会：大会期間中には開催しない

・高校生ポスター発表：検討中

本件について、東海会長からの以下の説明があった。

東海会長「今後の学会大会では、多数の参加者が見込まれるシンポジウム等はオンライン開催とし、研究を深めるために意見交換等が望ましい一般講演等については Covid-19 対策を講じながら対面で行う方針で進めたい。

未定の項目については今後の理事会で審議して決定したい。」

#### 第 8 号議案 「Fisheries Science 出版契約の更新」の件

潮総務担当理事より、Fisheries Science 出版契約の更新内容案についての説明があった。審議の結果、出席理事全員一致により原案の通り可決した。

(報告事項)

#### ① 令和 4 年度第 2 回理事会以降の職務執行状況

##### ・会長

東海会長 特になし。

##### ・副会長

山下副会長 特になし。

中田副会長 特になし。

##### ・庶務関係

廣野担当理事から、以下の報告があった。

1) 下記の協賛について、共催、協賛、後援の取り扱い申し合わせ 3)を適用した。

#### ① 第 19 回高付加価値食品開発のためのフォーラム

主 催 日本食品・機械研究会

協 賛 日本栄養・食糧学会 他 15 団体

日 程 令和 4 年 9 月 27 日・28 日

場 所 同志社大学今出川キャンパス良心館（京都府京都市）

希 望 協賛

負担金 なし

##### ・企画広報関係

潮担当理事 特になし。

##### ・財務関係

佐野担当理事から、令和 4 年度定時社員総会において令和 3 年度の決算報告が承認されたため、今後は内閣府公益認定等委員会に報告する作業を進める旨の報告があった。

##### ・編集関係

潮前担当理事から、Fisheries Science 出版契約の更新について本理事会の第 8 号議案において承認されたこと、編集委員長として岡田茂会員が就任し第 1 回委員会を開催したことが報告された。

##### ・学会賞関係

大嶋担当理事 特になし。

##### ・シンポジウム関係

落合前担当理事から、現在のところ新規シンポジウム企画案の応募がないた

め、今後も募集を継続する必要がある旨の報告があった。

- ・ 出版関係

山下担当理事 特になし。

- ・ 水産技術誌監修関係

有瀧担当理事 特になし。

- ・ 国際交流関係

佐野担当理事 特になし。

- ・ 水産教育関係

中田担当理事 特になし。

- ・ 水産政策関係

八木担当理事から、水産政策委員会の副委員長であった故後藤友明会員の後任として、牧野委員長の指名により石川智士会員（東海大学）が副委員長に任命されたことが報告された。また、石川智士会員は水産政策委員のメンバーであったため、委員の欠員補充について現在検討中であり、次回の理事会で審議事項として諮る予定であるとの報告があった。

- ・ 漁業・資源管理関係

小島担当理事 特になし。

- ・ 水産利用関係

潮理事（水産利用懇話会委員会委員）から、4月28日に第1回水産利用懇話会委員会をオンラインで開催し、令和4年11月に第1回講演会、令和5年1～2月に第2回講演会を開催する予定であるとの報告があった。第1回講演会では、東日本大震災から10年経過したことを踏まえた水産利用分野の取り組みの総括について、第2回講演会では、食品包材とマイクロプラスチックについての講演内容を予定しているとのことであった。

- ・ 水産増殖関係

佐野担当理事から、4月に第1回委員会をメール会議にて開催し、令和3年度の活動について審議したとの報告があった。

- ・ 水圏環境関係

大嶋担当理事から、水産環境保全委員会が主催する「相次ぐ海の異変ーベントス・付着生物から探る解明の糸口ー」というテーマのシンポジウムを5月21日にオンライン開催する予定であることが報告された。

- ・ 男女共同参画関係

中田担当理事 特になし。

- ・ 水産学若手の会関係

潮担当理事から、第2回委員会を近日中に開催予定であることの報告があった。

- ・ 社会連携関係

木村担当理事 特になし。

- ・ 将来計画関係

中田前担当理事から、これまでの経緯説明として、SDGs等について議論を進めてきた旨の報告があった。また、東海会長から、コロナ感染状況下における学

会大会運営等のあり方等を含め、今後の学会の将来についての検討を進めてほしい旨の意見があった。

- ・北海道支部、地域連携関係  
木村担当理事 特になし。
- ・東北支部、地域連携関係  
栗田担当理事から、令和 4 年 10 月に例会、令和 5 年 2 月に総会の開催を予定しているとの報告があった。
- ・関東支部、地域連携関係  
八木担当理事 特になし。
- ・中部支部、地域連携関係  
奥村担当理事から、令和 4 年 12 月に例会と総会を開催予定であるとの報告があった。
- ・近畿支部、地域連携関係  
澤田担当理事から、令和 4 年 9 月に研究発表会、12 月に講演会と研究発表会を開催予定であるとの報告があった。
- ・中国・四国支部、地域連携関係  
有瀧担当理事から、令和 4 年 11 月～12 月に総会と例会、およびシンポジウムを開始する方向性で検討中であるとの報告があった。
- ・九州支部、地域連携関係  
吉田担当理事から、総会を令和 4 年 12 月または令和 5 年 1 月に開催予定であること、また、宮崎大学が主催する春季大会について 6 月頃にホームページを開設予定である旨の報告があった。
- ・英文書籍監修委員会（特別委員会）  
東海会長（英文書籍監修委員）から、新規の Fisheries Science シリーズの企画を検討中であるとの報告があった。
- ・財務検討委員会（特別委員会）  
佐野担当理事から、各支部および委員会への予算の配分について、振込と払出を簡便化するための配分方法を検討中であるとの報告があった。
- ・水産・海洋科学研究連絡協議会関係  
東海会長 特になし。

## ② その他確認事項

### (1) 令和 4 年度定時社員総会における議決事項の確認

東海会長より、令和 4 年度定時社員総会において、第 1 号議案 令和 3 年度事業報告ならびに貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録承認の件、第 2 号議案 令和 4・5 年度役員（理事及び監事）選任の件についてすべて承認されたことが報告された。

### (2) 令和 4 年度理事会開催日程

東海会長から、令和 4 年度理事会の開催予定について説明があり、候補日時を確認した。日程が確定していなかった令和 4 年 9 月と 11 月の理事会については、それぞれ 9 月 17 日と 11 月 19 日に開催することとなった。

(3) 幹事紹介

新任の監事ならびに幹事からの挨拶があった。また、理事会の補足資料として、監事ならびに理事に規程集の電子ファイルを送付することとなった。

以上をもって Web 会議システムを用いた会議は、終始異状なく議案の審議等を終了したので、19 時 44 分、議長は閉会を宣言し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した議長（代表理事）及び監事は記名押印する。

令和 4 年 5 月 10 日

公益社団法人 日本水産学会  
議長 会長（代表理事）

監 事

監 事

監 事